



かめんて

自分の心にとめた所こそ故郷（ふるさと）

校長 重藤 和伸

先日、平成四年度から六年度までの三年間、片泊中学校の美術教師をされていた「川崎 浩先生」から学校に電話をいただきました。現在は画家をされておられます。

最近、本校の子供たちの作文が新聞によく掲載され、勇気付けられているので、画集と御自身が書かれた本を、杉山英男さんを通じて、寄贈させてもらいたいとのことでした。もちろん快諾し、届いた画集と本を拝見させていただきました。

コントラストの効いた美しい油絵が並んだ画集、当時の黒島の情景が目に浮かぶような物語「ヨタカの遺書」、片泊の数々のエピソードが描かれたエッセイ等があり、大変貴重なものでした。

杉山さんによると、川崎先生はふれあいセンターの緞帳（どんちよう）のデザインを描かれた先生で、本校の美術教育に尽力してくださったそうです。当時の沿革史を見ると、数々の図画コンクールで、優秀賞、市長会会長賞、知事賞、優秀学校賞といった成果が、ずらりと並んでいます。

川崎先生が残された御功績には敬服させられるのですが、それより心打たれるのが、三十年近く経った今でも、本校のことを思い出し、懐かしんでくださっているということです。川崎先生と地区の方々の温かい心の交流があったからこそ、川崎先生にとってこの片泊は、忘れ得ぬかけがえない土地になったのだと思います。

川崎先生が書かれた「ヨタカの遺書」の一節に、「**自分の心にとめた所こそ故郷（ふるさと）**」という言葉があります。多くの方々の心にとまる故郷であり続けられるよう、片泊の伝統・文化・歴史・風土を大切にしていかなければならないと、改めて考えさせられる出来事でした。

川崎先生が寄贈して くださった画集や本



※ 川崎先生の画集や本は、図書室に置かせてもらいました。ご覧になられたい方は、いつでもどうぞ。

みんなで走りぬいた！持久走大会

十二月四日、厳しい寒風が吹き抜ける中、持久走大会を開催しました。

子供たちはこれまで、自分の定めた目標に向かって、朝の時間や放課後に、一生懸命練習に取り組んでいました。この本番までのコツコツした努力こそが、持久走大会の本場の「価値」だと思っています。

当日は、ほとんどの子供が目標を達成し、晴れ晴れした笑顔を見せてくれました。みんなよく頑張りました！ 皆さん、応援ありがとうございました。



県立図書館 日高佳子先生 来校！

昨年度に引き続き、本年度も県立図書館の日高佳子先生が、読書の指導をするために来校してくださいました。

後期課程には本の選び方や資料の調べ方、前期課程には読み聞かせや読書クイズなど、本との関わり方について丁寧に教えてくださいました。

また、放課後には、家庭教育学級として「読み聞かせの仕方」について講話してくださいました。

日高先生の優しく楽しい語り掛けて、もっと本を読みたくなった方も増えたのではないのでしょうか。

子供たちの心の栄養とするために、読書する習慣をもっと身に付けさせたいですね。

日高先生、来年も待っていますよ！



1月行事予定

1日 (祝)	● 元日
4日 (火)	仕事始め
9日 (日)	三島村 成人式
10日 (祝)	● 成人の日
11日 (火)	始業式、大掃除
12日 (水)	7・8年 統一模試
13日 (木)	芸術鑑賞教室 (2～4校時)
〃	学校・地区推進委員会
16日 (日)	山の神祭り
18日 (火)	鹿児島学習定着度調査 (～20日)
19日 (水)	ジャンベ教室 (予定)
〃	本友 (結夢・花・浩介)
20日 (木)	入学説明会
26日 (水)	配りの日

ぞくぞく入賞！頑張りの成果！

- ※ 先月号の続きです。
- 南さつま児童生徒美術展
佳作 7年 下戸 良佑
- 未来に残そう青い海
海上保安庁図画コンクール (中学の部)
鹿児島支部長賞
7年 下戸 良佑
- 南九州市かわなべ青の俳句大会
入選 9年 下戸悠太郎
- 県 児童生徒作文コンクール
県特選 7年 下戸 良佑
9年 下戸悠太郎
- 第2回 漢字検定
2級 8年 永田 結夢
準2級 8年 大岩根 愛花
4級 7年 大岩根 花莉
5級 5年 石原亜 花莉
8級 3年 大岩根 桃
9級 3年 福山 浩介
- 校内日本むかし話マイスターへの道
合格 2年 山口さらな

人権について考えよう！

十二月四日から十日は、「人権週間」でした。

この週間に合わせ、本校でも様々な取組を行いました。

- ※ 人権に関する講話・授業
- ※ 人権標語の作成と発表
- ※ 人権に関するビデオ上映 等々



人権標語の発表

最近では、様々な人権問題があり、私たち自身、もっと人権に対する感覚を磨いていく必要があります。誰もが認められ、誰もが生きやすい社会を目指していくのではないかと思います。私たちの将来の幸せにつながっていくのではないかと思います。